

DX Talk vol.48 記事

DX Talk vol.48



韓国の大手証券会社が選んだDX人材研修

創業4年で売上50億円！
韓国Edtechスタートアップにきく
AIxデータ人材育成ノウハウ

1/10 WED
19:00-

モデレーター：宮崎善輝氏
株式会社DPLUS 代表取締役社長CEO
ファイナンス稲門会ワーキンググループ幹事

李さんあ氏

株式会社TeamSparta 日本事業開発担当
キカイトデアイ株式会社 代表取締役社長(予定)



はじめに

本記事は2024年1月10日に、韓国で急成長中のITスタートアップ「TeamSparta Inc.」の李・さんあ氏をお招きし、PythonやChatGPTを活用した業務自動化、データ分析やWebサイト開発など目的に合わせて幅広く学べるDX人材研修の導入事例についてお話いただいた講演をまとめたものです。

当会では、DX Talkと題して職種横断的にさまざまな企業のDX責任者をお招きし企業のDX推進について講演をいただいております。本講演はその48回目にあたります。主にDX担当部門、経営企画などの部課長クラスの方が視聴されることを想定し、DX推進の実務的詳細にまで踏み込んだ講演を魅力としています。業種を特定せず広範な領域のDX推進の実情について知ることにより「ビジョンをどう実務に落としとしていくか、実践的なDX推進のヒント」を得られると考えています。DX Talkはファイナンス稲門会の幅広い企業との接点により実現しているものです。ファイナンス稲門会員には感謝を申し上げるとともに、ファイナンス稲門会員ではない方は本記事をご覧ください。もしファイナンス稲門会に興味をもっていただけましたらぜひご入会を検討していただければと思います。

講演資料については当会で保存しております。ファイナンス稲門会員で講演資料を希望される方はwfic[at]finance-tomonkai.com(atを@に変換してください)まで連絡ください。

記事まとめ

スパルタは、「プログラミングを学ぶことで、エンジニアとの連携においてシナジーが生まれる可能性がある。また、非エンジニアがプログラミングを学んでエンジニアに転身する意欲も高まるかもしれない」と行った仮説をもとに、非エンジニア向けのプログラミングスクールとしてスタートする。スパルタはオフラインからオンラインへと移行し、受講生の増加をもたらし、売上も伸ばしている。この成功により、2023年には韓国のプログラミング教育部門でブランド大賞を受賞した。また、スパルタは韓国の企業にもDX研修を提供しており、成長を続けている。

韓国企業が求めるDXの定義について考える前に、異なる業界や部署、役職におけるDXの課題が注目される。共通しているのは、ITスキルと思考力を組み合わせることで業務の最大化や効率化を図りたいというニーズである。

日常の業務では、会社で与えられた指示に従って業務ツールを活用し、報告書を作成することが一般的である。韓国では外部ツールを個人で活用することも多いが、その機能には限界があり、非効率な面もある。そこで、スパルタは業務ツールの最大限活用するためのコーディング知識を提供し、それを実践する研修を行っている。

目次

- [1. 企業紹介](#)
- [2. 韓国企業のDX研修事例](#)
 - [2a. 韓国企業が求めたDXとは？](#)
 - [2b. DX教育の事例](#)
- [3. スパルタならではの強み](#)
- [4. 生成AI 2daysオンラインセミナー](#)

1. 企業紹介

会社概要

| | |
|-------|---|
| 会社名 | TeamSparta Inc. (2024年1月現在日本法人設立中) |
| 設立 | 2020年4月13日 |
| 所在地 | [SEOUL OFFICE] 12F, 13F 8, Teheran-ro 44-gil, Gangnam-gu, Seoul, Republic of Korea [TOKYO OFFICE] 東京都千代田区霞ヶ関3-2-5 5F (KOTRA 東京IT支援センター S-05) |
| 代表取締役 | イ・ボムギョ |
| 従業員数 | 140名(2024年1月) |
| 事業内容 | - 教育サービス - ソフトウェア開発および提供 - デジタルコンテンツ開発 |



Our Mission

誰もが活躍できる

4

個人のスキル × プログラミング = 大活躍

自分の強みに AI/SW 技術という武器を足し

誰もが大活躍できる世界を作ります。

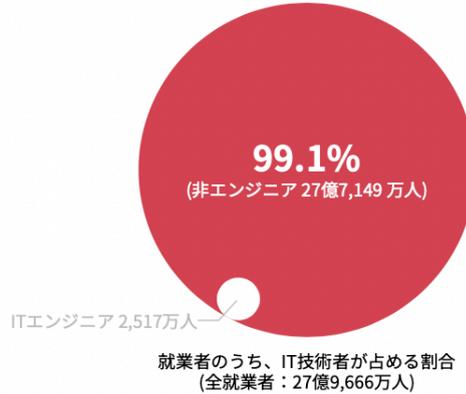
| 韓国での事業紹介



市場の問題

世界中の職業のうち、ITエンジニアはたったの1%

IT関連の需要は増加する一方で、IT人材は世界中で不足している



※ [ヒューマンリソース調査] 2022年度版：データで見る世界のITエンジニアレポートvol.5

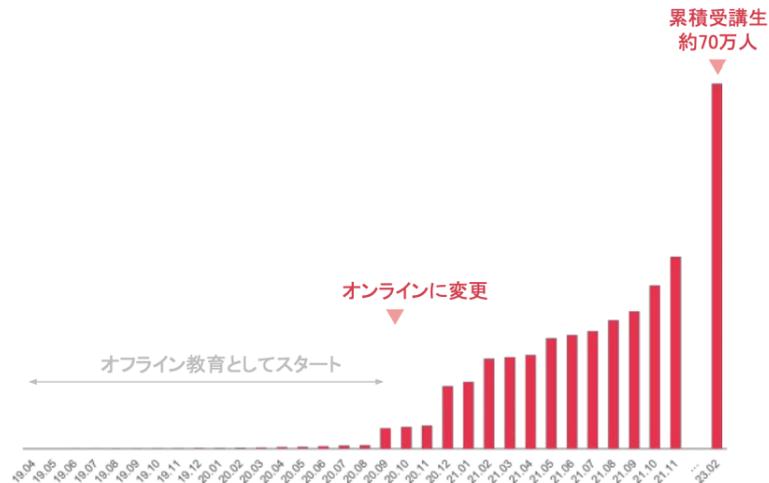
7

プログラミングを学ぶと、エンジニアと協業するときにもっとシナジーが出るんじゃないかとか、もしくは今後エンジニアが活躍するのであれば、私もプログラミングを学んでエンジニアになりたいと思うエンジニアじゃない方々がもっと多いんじゃないかなというのを仮説を持って、そういった非エンジニアの方々向けのプログラミングスクールとしてスタートしております。

事業成果

サービス開始後、素早くニーズを証明

30個以上のオンライン講座や企業向けDX研修、専門教育ブートキャンプを運営



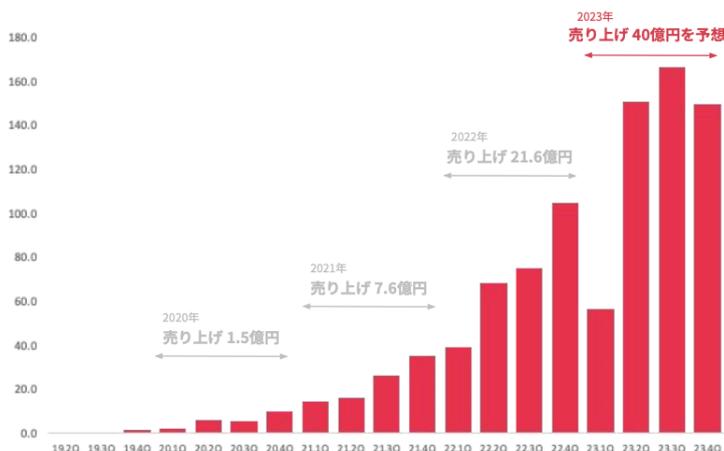
8

最初はオフラインで授業をスタートしておりますが、コロナを機にオンラインに切り替えて、物理的なハードルもなくなって受講生がどんどん増え、去年累計で70万人を超える受講生がすでにスペインの講座を受講されているような結果になっております。

事業成果

毎年2～3倍以上の売り上げ成長

30個以上のオンライン講座や企業向けDX研修、専門教育ブートキャンプを運営



9

B2Cだけではなく、企業様に研修を納入してから売上もすごく伸び、毎年2、3倍ぐらいつつ成長して、去年は40億円以上の売上を達成しました。

高い信頼度のスパルタコーディングクラブ



2023年度 今年のブランド大賞受賞

- 2023 大韓民国ファーストブランド大賞
- 2023 今年のブランド大賞
- 2022 ソフトウェア産業発展大統領表彰
- 雇用労働部 長官表彰

スパルタコーディングの受賞歴



こういったこともあって、韓国では毎年いろんなサービスの分野で一番影響力のあったサービスにブランド大賞を表彰しているのですが、2023年度はプログラミング教育部門でブランド大賞を受賞しております。

企業向けのDX教育

韓国の名だたる企業様にDX研修を提供しています。



11

B2Cだけではなくて、こういった名だたる韓国の企業様にもDX研修を提供しております。パッと見た時に最近日本でも展開しているような企業さんもいくつかあるので、見慣れたロゴもあるのではないかなと思うんですけども、今日はこういった企業さんの中で2つ、韓国の事例ということで皆さんにもご紹介ができればなと思っております。

2. 韓国企業のDX研修事例

早速、パート2の韓国企業のDX研修事例に入っていきたいんですが、その前にですね、そもそも韓国企業が求めているDXとは何かについて少し皆さんとすり合わせができればなと思っております。

2a. 韓国企業が求めたDXとは？

韓国企業が求めたDXとは？



デジタルツールの使用よりは ITスキル × 思考力の向上を重視

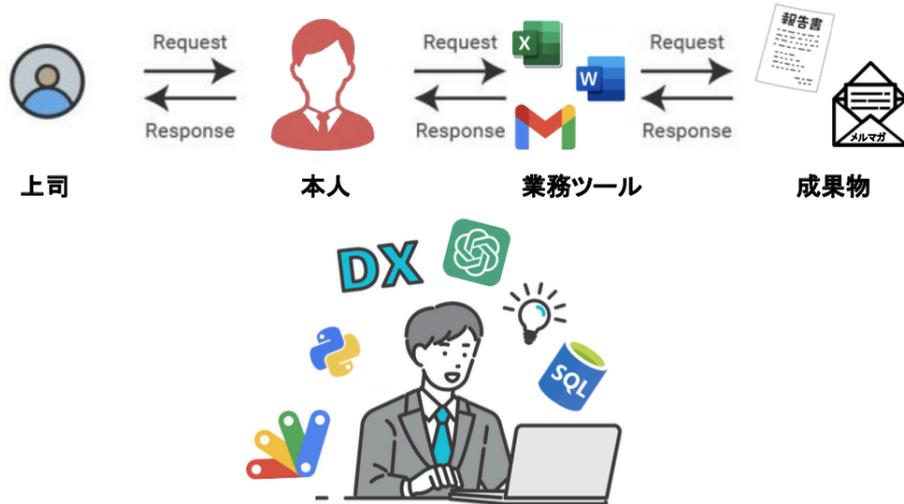
冒頭、宮崎さんもDXの課題がたくさんありますねという話があったと思うんですけども、私個人的にはですね、このDXというのがすごくビッグワードだと思っておりまして、弊社にいろんなDXの課題がありますという風に皆さんおっしゃるんですが、その方が所属されている業界だったり部署だったり、その方の役職によっても全然そのDXの意味合いというのは変わってくるなという風に感じるんですね。

日本企業でもそうだと思うんですけども、韓国企業でも実はこれは全く同じでして、皆さんDX、DXとおっしゃるけれど明確な課題というのが定義できていないような状況が結構多いなという印象です。でも共通して言えるのは何かしら、そのITツールとかデジタルツールを使いこなせるようになりたい、そういう風に社員を育成させたいというようなご要望よりかは、ITスキルと思考力を掛け合わせて、今やっている業務を最大化、業務のお手伝いをしていくという風に考えています。

生産性を一番上げていきたいだったりとか、より大きな価値を出していきたいだったりとか、ITスキルを身につけることによって業務の幅感を広げていきたいだったり、もうちょっと広い意味で共通して皆さんおっしゃるのが、ITスキル掛け合わせて思考力の向上ということを重視していきたいというのは共通しておっしゃることだなという風に思いました。

韓国企業の業務で起きていること

外部のツールやサービスを使って業務をすることが多いが、
ツールごとの制限があり思うように進められなかったり、逆に非効率になることもある。



14

もう少しだけ業務に近づけてお話をしますと、普通に会社で働いていると多分このような流れで仕事をされる方が多いかなと思うんですけど、上司の皆さんから何かしら指示を受けてそれを自分でいろんな業務ツールを活用しながら報告書を作ったり、世の中にアウトプットを出していくような流れで仕事をされる方が多いんじゃないかなと思います。

この世の中なので、手書きで仕事をされることは誰もいなくほぼいなく、業務ツール、いろんなITツールを駆使しながら仕事をされることが多いかなと思うんですけども、韓国はですね、結構外部ツールだったりとか、会社のツール以外にも外部のサービスとかを個人が結構活用しながら仕事をすることが多々あったりするんですね。ただ、こういった業務ツールとか外部のツールって機能が万全ではないですし、やりたいことを全て実現させてくれるわけでもないかなと思っております。

これを活用する中で思うように進められなかったりとか、それを活用することが逆にちょっと非効率になってしまうこともあったりして、韓国の企業のリーダー陣からはどうすればこの業務ツールっていうのを最大限に活かしながら効率よく仕事ができるのかっていうところがいつも課題感として持っているものでした。

そこで、スパルタはですね、こういった業務ツールを最大限に活かすための少しばかりのコーディングの知識っていうところをカリキュラムに溶け込ませて、実際にどのような研修を提供していたのかところを皆さんにも少しご紹介できればなと思います。

2b. DX教育の事例

| 大手証券会社

true friend 한국투자 증권

true friend Korea Investment & Securities Co., Ltd.

- ❑ 会社名 : Korea Investment & Securities Co.,Ltd.
- ❑ 設立日 : 1974. 7. 16
- ❑ 韓国TOP3の証券会社

受講背景

全社的な業務生産性向上

まず、一社目は大手の証券会社さんですね。韓国投資証券さんで、1974年に設立されても歴史が50年ぐらいあるすごく長い会社で、韓国でも大きな証券会社さんです。証券会社で働く方々を大手の証券会社さんとしてはちょっとイメージしていただくと、毎日変わっていくマーケットの状況、株価だったりとか市場のいろんなニュースっていうのをまとめてお客さんに提供したり、レポートしたりっていうのが、すごくいろんな部署のいろんなレイヤーの方々がやっている仕事かなと思うんですけども、こういった仕事働き方のところを全面的にもっと生産性を向上していきたいというようなご要望をお客さんから頂戴いたしました。

| 大手証券会社

全社のDX研修導入の前に、社長を中心に各子会社の役員約50名を対象にDXの重要性と簡単なコーディングセミナーを実施し、共感を得て、全社員の研修に入る。



この会社さんですね、すごく大きな会社さんでして、一社ではなくてその下に副主査の子会社を持っているような会社だったんですけども、全社員に対してDXの研修をすることで働き方の改革をしていきたいというご要望に応えるためにはまずは経営人を説得する必要があったと思います。なので、一番最初は社長さんを含めて各社さんの役員の方約50名の方を集めて、DXの重要性とあとは実際簡単なコーディングセミナーというのを実施しました。社員さんに納品するよう

な研修の一部分というのをちょっとアレンジして、皆さんにも簡単にコーディングを書いて、コーディングを学んでいただいて、それを業務で活用するとどんな変化がありそうなのかというところをイメージしていただき、実感を持っていただくことで、実際にこの研修をやった方がいいねっていう共感体を作った上で、全社員の研修に入っていました。

大手証券会社

実務ではメール送信やエクセルデータ管理業務が多いことをヒアリングし、研修のミニプロジェクトには実務関連の課題を入れる。

| | 内容 | 期待レベル |
|----|--------------------------------------|--|
| 基礎 | - Python&ChatGPTの基礎 - ミニプロジェクトの作成 | - Pythonの基礎を理解し、ChatGPTを活用してコードを生成できる - Excel操作やメール送信、データ分析などの計4個のミニプロジェクトを作成 |
| 応用 | (選択1) データ分析特化 | - データをもとに問題定義 → 仮説設定 → 分析 → 検証できる |
| | (選択2) プラットフォーム制作 | - データをより効率的に収集し結果を表示できる簡易Webサイトを作成できる |
| 実践 | - オリジナルプロジェクト制作 | - 実際に業務で扱うデータやツールを用いて実践ですぐに使えるオリジナルプロジェクトを作る |

18

社員さんのほとんどがですね、プログラミングをやったことないですし、DXの研修全社でやるよって言った時にもあんまり積極的に皆さん参加されなかったりもするので、どうすればこの研修が実務にちゃんと生きるんだってところを感じていただけるのか、そこを結構ポイントとしてカリキュラムを設計しております。なので、皆さんが実務でよく使われているメールの送信をより楽にする方法だったりとか、Excelデータをいかに簡単に効率よく使えるようなことを考えていただくと管理していくのか、あたりを研修の中のミニ課題として全て設定をしまして、ただ学んで終わるのではなくて、実際の業務を思い浮かびながら座学でも学べるようなカリキュラムを設計しました。業務の効率化というところで結構日々繰り返される業務というのを自動化させるところも一つポイントになっていたんですけども、Pythonというプログラミング言語をその構造を理解して、ChatGPTを使って実際Pythonのコードを書いて、それをExcelにつなげて、Excelの操作をしたりとか、メールを送信したりとか、データを分析するような内容を皆さんにお伝えいたしました。その後、データ分析を強化したい方向けとあとはプラットフォーム政策を強化したい方向けに2つのパターンに分けて、ご自身の今の業務に合わせてより進化されるような内容を学んで、最後にはですね、自分の業務で今活かそうなものオリジナルプロジェクトとして制作していただきました。学んで終わりではなくて、学んだものを自分の業務で活用するときどういうふうを活用すればいいのかというのをオリジナルプロジェクトとして皆さん作られたようなイメージでございます。

大手証券会社



受講中の様子



プロジェクト発表会

- 期間：2022.02～現在
- 講義：DX人材育成(ChatGPT & Python)
- 受講形態：全3週間のオフライン講義
計90時間
- 対象：毎クラス60名ずつ抜擢
- 人数：累計2000人以上

受講結果

ChatGPTを活用して効率よくPythonコードを生成し、各業務を効率化できるプロジェクトを作成。

大手証券会社

非エンジニアの方でも、業務に直結するオリジナルプロジェクトを完成



| 日 | 銘柄 | 買値 | 買数 | 買値 | 買数 |
|----|----|----------|----|----------|----|
| 1 | 0 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 2 | 1 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 3 | 2 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 4 | 3 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 5 | 4 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 6 | 5 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 7 | 6 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 8 | 7 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 9 | 8 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 10 | 9 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 11 | 10 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 12 | 11 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 13 | 12 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 14 | 13 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 15 | 14 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 16 | 15 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 17 | 16 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 18 | 17 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 19 | 18 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 20 | 19 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 21 | 20 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 22 | 21 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 23 | 22 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 24 | 23 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 25 | 24 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 26 | 25 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 27 | 26 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 28 | 27 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 29 | 28 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 30 | 29 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |
| 31 | 30 | 0.000000 | 0 | 0.000000 | 0 |



報告資料制作ツール

- 担当業務：国内上場&非上場企業を対象に金融商品のセールス
- 企画背景：月1~2回の顧客ミーティング時に使用する資料作成時間の短縮
- 主な機能
 - a. Open APIを活用し対象企業、対象項目を抽出
 - b. Seleniumを活用しサイト上の対象項目を把握

競合他社比較ツール

- 担当業務：毎週顧客データを確認し整理(購入履歴、支店など)
- 企画背景：これまでただ整理していたデータを分析してインサイトを探索
- 主な機能
 - a. 自社 & 他社のWeb情報をスクレイピングしてExcelに保存
 - b. 項目ごとに整理し、Pythonを活用して指定時間ごとに自動アップデート

毎日の市場チェックツール

- 担当業務：PMとして担当プロジェクトの関連市場調査(デیلیー業務)
- 企画背景：確認が必要な指標をダッシュボード形式で管理し業務効率化
- 主な機能
 - a. 株価や為替レートなどの指標をリアルタイムでアップデート
 - b. 項目ごとに整理し、Pythonを活用して指定時間ごとに自動アップデート

どんなものを作ったかというところを少しお見せしますと、例えば、報告資料制作ツールだったり競合他社比較ツール、毎日の市場チェックツールというところを。1回もコーディングをやったことがないとエンジニアじゃない方々が3週間の研修を経て作り上げたんですけれども、例えば、この報告資料制作ツールは国内の上場非上場企業を担当しているその企業様に金融商品のセールスをするような営業の方が作られたものです。月1回か2回定例を設けてお客さんに今の市場の流れだったりとか商品の状況だったりとかいろんなデータというのを報告をしながらミーティングをするような方だったんですけれども、その変わりゆく市場の変動するデータというのをオープンAPIを活用して対象企業と対象項目を全部抽出し自動的にデータを集めて報告書のフォーマットにまとめていくようなツールを制作しました。これで報告書を作る時間というのがぐんと減らすことができたというような事例が1つあったのと、あとは一番右のPMのダッシュボードというようなもの

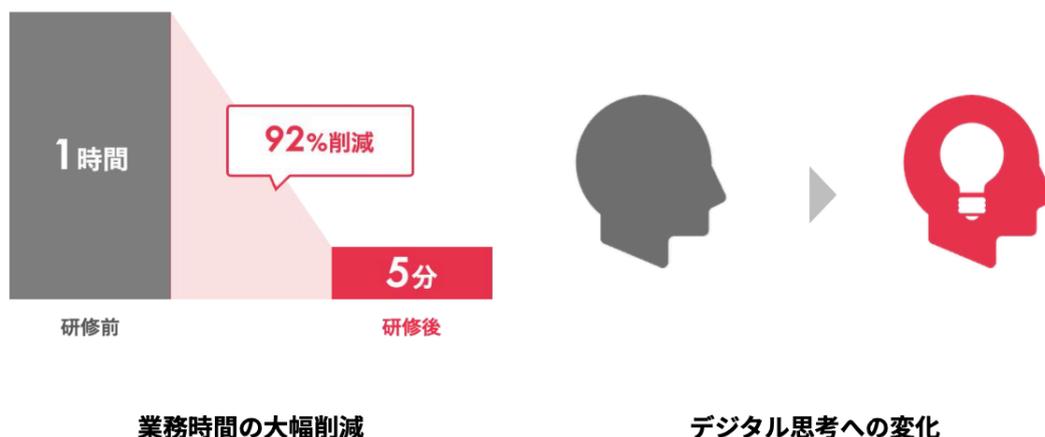
なのですが、毎日PMとして担当プロジェクト関連の市場を調査しているような方がご自身のためのダッシュボードというのを作って業務を日々の業務というのを短縮した事例が1つございます。

大きな会社なので、前者が見るようなダッシュボードってもちろんあったと思うんですが、皆さんもお仕事をされるときに前者のダッシュボードを見ていざ自分の仕事につなげようと思ったときに、この指標とこの指標が前の方が見やすいんだけどとか、ここのデータはいらぬのに重たいなとか思うことってあると思うんですね。そういった前者のデータを見るのももちろんダッシュボードを活用するのももちろんいいと思うんですけども、自分の業務に一番フィットするような形でダッシュボードを制作して、毎日情報収集をしなくてもいいような仕組みを作ることによって業務の生産性向上ってところにつなげるような事例がございまして。こういったツールっていうのを皆さん研修をしながらその研修の中でちゃんとアウトプット、このツールを作成されたっていうのが一つ証券会社さんの事例でした。

この会社さんはすごく大きいので、まだまだ実は研修は続いておりまして、2022年から始まっているんですけども、まだ研修が全部終わらず続けてやっております。

研修後の変化

業務時間の大幅な減少や、
日々の業務を自動化できる知識が身につくにつれて業務に変化が出てきた



21

ChatGPTを活用して簡単にでもPythonコードを作って各業務を効率化できるような各々のプロジェクトが作成できてよかったというようなお声をいただいているのはもちろんなんですけれども、実際1時間ぐらいかけていた業務をこのプロジェクトを使って研修を経て作ったプロジェクトを使いながらすることで5分にも減らして大幅な業務の業務時間の削減ができてることだったりとか、何も考えなかったら手動で当たり前でやると思っていたことをもしかしたらこれ自動化できるかもっていうふうに思うようになったその意識の変化があったことが一番良かったことだというようなコメントをいただいております。

メガベンチャー

kakao

kakao piccoma



- ❑ 会社名：Kakao Corp.
- ❑ 代表サービス：「カカオトーク」
- ❑ 設立日：1995. 2. 16
- ❑ 時価総額：2.5兆円（2023年5月基準）

受講目的

生成AIを活用した業務変革

（カタログ制作、プロモーション企画作業における繰り返し業務の解消）

2つ目がですね、メガベンチャーさんでして、カカオさんなんですけれども、日本でもピッコマっていうサービスでよく知られているような企業さんで、新規事業もたくさんやっておりますし、いろんなプロモーションも多方面でやってらっしゃるので、今ホットな生成AIをどうやって業務につなげて活用できるのかというのを社員に教えてあげてほしいというご要望を受けて研修を納品しております。

メガベンチャー

頻繁に行われるプロモーション企画やカタログ制作において、 レファレンス探しや成果分析を効率よくするためのカリキュラムを設計

| | 内容 | 期待レベル |
|--------|--|--|
| STEP 1 | - ChatGPTとは何か？プロンプト基礎 - ChatGPT with Excel / Word | - ChatGPTの仕組みを理解し、適切な命令が出せる - ExcelやWordでChatGPT機能を活用し、関数処理や文書作成を効率化できる |
| STEP 2 | - 生成AIを活用したコンテンツ制作 | - 生成AIを使って必要なイメージや動画をスムーズに制作できる |
| STEP 3 | - GASの基礎 - スプレッドシート操作&データ活用 | - 業務の中でGASを活用できる - SQLを活用し簡単なデータ分析ができる |
| STEP 4 | - オリジナルプロジェクト制作 | - 学んだ内容を活用して実際の業務に活かせるオリジナルプロジェクトを作れる |

24

企画担当とプロモーション担当のマーケターの方々がメインの研修だったので、実際業務でどういう仕事が行われているのかというのをヒアリングさせていただいた時に、プロモーション企画だったりカタログ制作、それを作るためのレファレンス探しにものすごい時間をかけていますよと実際行った後に成果分析にも時間をかけていますということがあったので、それを成した後に生成AIを活用してどう効率よくできるのかというのに着目し研修プログラムを設計して納品をしております。

マーケターの方々が毎月毎月プロモーションとかを設計する時にお正月だったら赤がいいのかとかバレンタインではどういうアニメーションを使うのかとかいろいろ他社のレファレンスチェックされると思うんですけども、そういうのを生成AIを使って手早く情報を収集し、実際それを作って成果分析までするような流れですね。

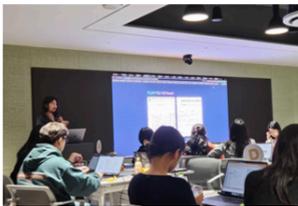
ChatGPTとは何なのか、こういった指示命令を使えばいいのかとかExcelにつなげて関数を活用したりWordにつなげて文章制作を自動法律化させたりとか、あとはChatGPTと生成AIを活用して実際イメージと動画を作ってみたりとか、GASの基礎を学んでスプレッドシートだったりWordだったりとか一元管理するようにしたりとか、SQLを活用して実際に動画を作ってみたりとか、実際のデータっていうのをちゃんと分析できるようになるだったりとか、こういったものを2週間かけて皆さんにお伝えをしまして最後には同様にオリジナルプロジェクトを制作して実際業務で活用できるようなものを皆さん持って帰るような形にしております。

メガベンチャー



受講中の様子

- ❑ 期間：2023.12.5 ~ 2023.12.15
- ❑ 講義：生成AI活用コース
- ❑ 受講形態：全2週間のオフライン講義
計31時間
- ❑ 対象：企画・マーケター
- ❑ 人数：30人



プロジェクト発表会

受講結果

業務の効率化だけでなく
AIを身近に活用できる意識改革

30名の企画とマーケターの方々に受講をいただいて、業務の効率化はもちろんなんですけれども、AIでこんなことまでできるんだっていうのを結構身をもって体験いただいたので、それを業務に活用できる意識改革ができたっていうようなコメントをいただいております。

カカオさんの場合はちょっと最後のアウトプットは公開が難しかったのでごくさらっとした事例紹介になってしまったんですけども、こういった大手の企業さんからもお声がいただけているマスマルトならではの強みについて少しお話できればなと思っております。

3. スパルタならではの強み

■ スパルタの強み

既存のサービスでは手が届かない部分をケアして
実践できるスキルを身につける



27

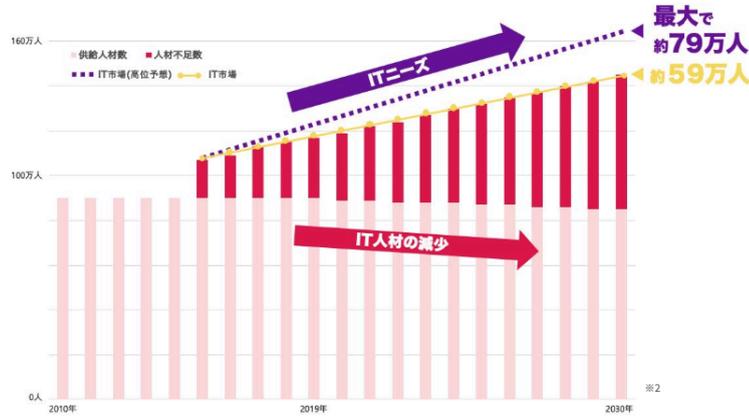
日本でも韓国でも結構こういったオンラインオンデマンド型のプログラミングスクールっていうのはたくさんあるかなと思うんですけども、スパルタは既存のサービスでは手が届かない部分をちゃんとケアして実践で使えるスキルを身につけるところにすごくこだわっています。

オンデマンドだからこそ途中で誰も見てくれないので途中で挫折しやすかったりとか、あとは一方的に理論を学んだはいいものの、ちゃんと身につけていなかったりとか、インプットしたはいいけれども実際業務で使おうと思ったときにどうすればいいのかわからないことでたくさんあると思うんですけども、スパルタの場合は一人一人に進捗管理、一人一人の進捗管理をすることで最後までモチベーション高く受講ができるような伴奏体制をちゃんと組んでいたりと、あとは実際業務で使われている内容をカリキュラムに入れているように実習ベースの学習スタイルで本当に業務で使えるようなスキルをちゃんと学んでいくあとは最後に個人プロジェクトを必ず制作していくことが大事です。

そういうのを必ず検証してもらおうので学んで終わりとか課題を提出して終わりではなくて、ゼロから自分で何かを作ってみようような経験っていうのを必ず検証の中でやることで実践で使えるスキルを身につけていただくことにこだわっています。

日本進出のきっかけ

日本の深刻なIT人材不足。スパルタは短期間で効率よく未経験者をIT人材へと育成してきました。そのノウハウを生かし、日本でもこの課題に向き合っていきます。^{※1}



※1: 株式会社矢野経済研究所の2023年版 デジタル人材関連サービス市場の現状と展望
※2: 経済産業省「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」

28

このようなノウハウを生かして、日本でもちょっと日本のIT人材不足だったりとか世界のIT人材不足という課題に向き合っていきたいなと思っているんですけども、皆さんご存知の通り2030年には日本でも最大の人材不足が80万人ぐらいのIT人材が不足していると言われてます。一番短期間で効率よく未経験者をIT人材に育成してきたスパルタのノウハウを生かして、日本でもこの課題に向き合っていきたいなと思っている次第でございます。

日本での成果

今年4月から始まった日本市場進出



29

去年の4月に、日本に初めて展開してみたいなというところで進出をしまして、たくさんの社会人の方だったり企業さん、あとは学校さんだったりとか自治体の皆さんとお話し合いを今進めていますので、今後も進めていきたいなと思っております。今年はもう少し本格的に展開をしていきたいなと思っているところでございます。

4. 生成AI 2daysオンラインセミナー

生成AI 2daysオンラインセミナー



31

生成AI 2daysオンラインセミナー

要点だけを抑えたカリキュラム

| | 内容 | 詳細 |
|-------|------------------------|---|
| DAY 1 | - ChatGPTとは？プロンプトの活用方法 | - ChatGPTでできること & できないこと - ChatGPTプロンプトのコツ |
| DAY 1 | - ChatGPTでWebサイト制作 | - ChatGPT API Keyでtldrawに接続 - じゃんけんゲームサイト制作 - 宝くじ当選番号予想サイト制作 - 販売サイト制作 |
| DAY 2 | - AIでバーチャルキャラクター作り | - 生成AIの基礎知識 - ChatGPTでイメージ企画 & dream.aiでイメージ制作 - d-idで喋る動画制作 |
| DAY 2 | - AIで報告書作り | - GPT for Sheets and Docsで報告書テンプレート制作 - gammaでプレゼンテーション制作 - dream.aiでイメージ制作 & graphy.appでグラフィイメージ制作 |
| DAY 2 | - ノーコードでチャットbot作り | - typebot.ioの基礎知識 - ChatGPT APIで人工知能チャットbot制作 - 提案型チャットbot制作 |

32

生成AI 2daysオンラインセミナー

たくさんのお申し込みお待ちしております！

セミナー概要

- ・日程
 - Day1 : 2024年1月30日 (火) 19:00~21:00
 - Day2 : 2024年2月1日 (木) 19:00~21:00
- ・形式 : Zoomによるオンラインセミナー
- ・参加費 : 特別価格**10,000円**
(定価 40,000円)
- ・定員 : 10名
- ・参加資格 : 誰でも申し込み可能

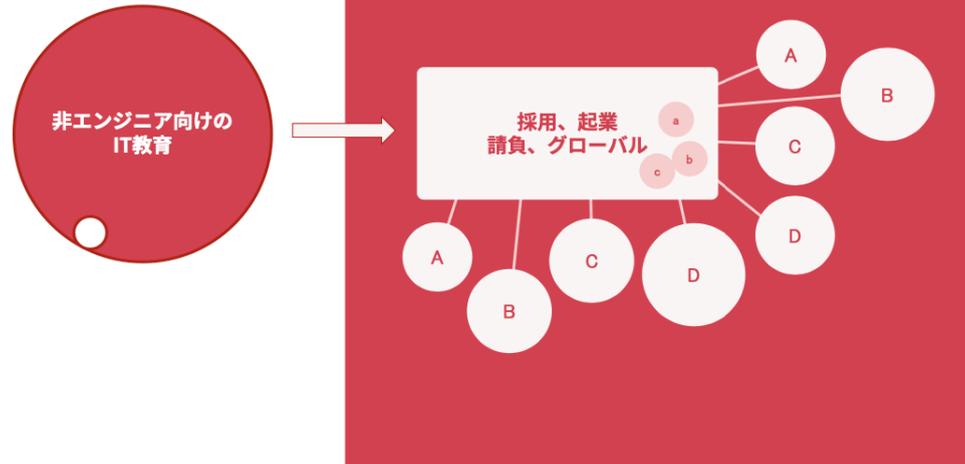


33

最後に、スパルタからのご案内なんですけれども、今ホットな生成AIについて丸わりの2daysのセミナーっていうのを企画しております。完全体験型のオンラインセミナーでして、座学ではなくて皆さんにもPCを用意していただいて実際行動を打ってみたりとか何かを作っていたかような体験をしながら実際にどういふことで何があるのかその可能性について実感していただくような内容になっております。ChatGPTについてだったりとかチャットGPTでいろんなウェブサイトを実際作ってみる、あとはAIでバーチャルキャラクターを作ってみたりとか業務で使えるような報告書をAIで制作してみるようなこともやっていきます。ノーコードでチャットボットを作るところまでを1日2日たったの1日ごとに2時間ずつですね、たったの2時間ですね、4時間で体験を实际していただくような流れになっておりまして、いろんな課題があるんですけれども、この課題を応用しながらオリジナルのプロジェクトっていうところも十分に作っていただけるようなみっちりした内容になっております。これを1月30日と2月1日の2日間に分けて4時間実施していく予定です。通常4万円なんですけれども、特別価格で1万円でご用意しておりまして、先着10名様分の席を用意しておりますので、もし興味ある方ございましたらぜひ申請をお申し込みをお願いいたします。

Ⅰ スパルタが歩む道

非エンジニアをIT人材として育て 彼らと一緒に事業を広げる



スパルタは非エンジニア向けのIT教育機関としてスタートしておりましたが、プログラミングスクールで終わるのではなく、私たちと一緒にプログラミングを学んだ彼らと一緒に事業をもっともっと広げていきたいなと思っております。採用だったりその人たちの企業というところの支援だったり、グローバル展開だったりいろんなところで事業を展開していくことで総合的なITの連合体というのを目指していきたいなと思っております。皆さんともどこかで縁があって一緒にお仕事ができると嬉しいなと思っております。